

患者の皆様へ

平成 30 年 3 月 10 日

呼吸器外科

現在、千葉大学医学部附属病院呼吸器外科では、肺コクシジオイデス症、肺真菌症を含む肺感染症に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では肺コクシジオイデス症の手術を受けられた患者様、肺感染症の患者様の診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名「肺コクシジオイデス症に対する後方視的研究」

2. 研究の意義・目的

人や物質の国際交流により、今後増加が予想される肺コクシジオイデス症は、本邦では年間 15 例程度認める症例である。自然界では爆発的な感染力を持ち、感染症法第 4 類に指定され、取り扱いには十分な注意が必要です。生検に伴う危険性もあり、胸腔鏡下手術を行うことが、診断を兼ねた治療として有用であるとされていますが、検討された報告は少ないです。今回、我々は、取り扱いに注意を要する肺コクシジオイデス症に対する胸腔鏡下手術の必要性に関して検討します。

3. 研究の方法

肺癌に対し、2007 年 1 月から 2017 年 12 月までに当施設にて手術を行った患者様の臨床情報（年齢、性別、現病歴、既往歴、渡航歴、喫煙歴など）、細菌検査、採血結果、画像情報を解析・検討します。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院呼吸器外科教室の鍵のかかる棚で保管し

ます。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。また、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院呼吸器外科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院呼吸器外科

医師 田村 創

043 (222) 7171 内線 5464